

令和5年5月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 302 (2023年5月)

■歌舞伎座ギャラリーで、「十二世市川團十郎十年祭 特別展」が開催されています！



十二世團十郎は、昭和21年(1946)8月6日に十一世團十郎の長男として生まれ、昭和28年(1953)10月歌舞伎座『大徳寺』の三法師君で初舞台を踏み、昭和33年(1958)5月歌舞伎座『風薫鞍馬彩』の牛若丸で六世新之助を襲名。昭和44年(1969)11月歌舞伎座『助六由縁江戸桜』の助六ほかで十世海老蔵を襲名し、昭和60年(1985)4・5・6月歌舞伎座『勸進帳』の弁慶、『暫』の鎌倉権五郎ほかで十二世市川團十郎を襲名しました。また、同年7・8月にはアメリカで海外では初の襲名披露興行を行い、以降も積極的に海外公演に参加しました。

この特別展へは、当館から十二世團十郎の出演舞台の台本や筋書など関連資料や関連書籍などを展示提供しております。

木挽町ホール内の展示ケースの一つには、『若き日の信長』について、作者大佛次郎の戯曲集や筋書に掲載された談話などを紹介しています。成田屋の節目となる記念興行に上演されてきた大切な演目であり、初演の十一世團十郎から当代の十三代目團十郎へ三代にわたり演じられてきた芸の継承を、各公演の資料を通してたどることができます。

そしてもう一つには、團十郎家と縁の深い成田山の奉賛公演や、歌舞伎海外公演のプログラムを展示し、十二世團十郎の生涯に想いを馳せることのできる展示となっています。

歌舞伎座のご観劇の際には歌舞伎座ギャラリーの十二世團十郎特別展へも、ぜひ足をお運びください。

詳しくは以下の、歌舞伎公式総合サイト「歌舞伎美人」ニュースページをご覧ください。

<https://www.kabuki-bito.jp/news/8283>

2023年5月2日(火)より、歌舞伎座タワー5階の歌舞伎座ギャラリーで、十二世團十郎を偲んで「十二世市川團十郎十年祭 特別展」が開催されています。この特別展では、十二世團十郎の思い出に残る数々の当り役の舞台写真を中心に、今月歌舞伎座「團菊祭五月大歌舞伎」の昼の部で、「十二世市川團十郎十年祭」と銘打ち上演される『若き日の信長』にまつわる資料などを展示しています。

目次:

歌舞伎座ギャラリーで、「十二世市川團十郎十年祭 特別展」が開催されています！	1
第97回所蔵資料ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」	2
所蔵資料紹介 - [5]『達陀』資料 -	2
新たに資料をご寄贈くださった方々	3
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
利用案内	4



■第97回所蔵資料ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」

展示期間:2023/4/28-6/28 於閲覧室

今回の展示は、「大阪松竹座開場 100 周年」です。

令和5年5月に開場100周年を迎える大阪松竹座は、大正12年、江戸時代より芝居町として栄えた道頓堀の地に、松竹の創業者のひとりである白井松次郎の発案により誕生しました。関西初の洋式劇場、日本初の鉄筋コンクリート造りという豪華な建物で、その興行形態は、映画上映とともに松竹楽劇部(後のOSK日本歌劇団)のレビュー、歌舞伎や新派などの演劇や舞踊、映画俳優の実演、管弦楽団のコンサート、そして海外の舞踊家の来日公演などを中心とした、当時モダンで画期的なものでした。

その後、戦後にかけては映画上映専門となり、洋画を中心に、多くの名作、話題作を上映。昭和27年9月には2カ月にわたる『風と共に去りぬ』のロードショーが行われ大ヒットとなるなど、長らく大阪を代表する映画館として多くの名作、話題作を上映しましたが、平成6年に閉館。そして、平成9年には“道頓堀の凱旋門”と呼ばれた正面ファサードを保存し新築、演劇の劇場として生まれ変わりました。現在も、歌舞伎をはじめ、OSK日本歌劇団、松竹新喜劇、商業演劇など多彩な公演が催され、演劇ファンを楽しませています。

今回の展示では、当館所蔵資料から、大正時代をはじめとした戦前の資料を中心に、大阪松竹座の100年の歴史を振り返ります。



右「がくげき大正15年創刊号」
左「松竹座グラフィック大正13年創刊・ロジタ号」

【資料一覧】

展示資料:雑誌「松竹座グラフィック」創刊・ロジタ号(大正13年)/『バグダッドの盗賊』梗概(大正14年)/雑誌「がくげき」創刊号(大正15年)、河合ダンスがくげき臨時特輯(大正15年)/『春のおどり』第1回プログラム(大正15年)/『松竹座パンフレット 新装記念号』(大正15年)/『松竹座パンフレット 開館満五週年記念』(昭和2年)/『実演 驟雨』舞踊 鶯娘』チラシ(昭和2年)/『映画松竹座新聞』広告(昭和2年)/「松竹座ニュース」大正13年11月28日～、大正14年10月22日～/「松竹座ニュース Shochikuza NEWS SP OSAKA」96(昭和8年)/『沙漠の花園』前夜会開催チラシ・松竹座ニュース号外(昭和12年)/「松竹座ニュース SYOCHIKUZA NEWS SY」No.38(昭和12年)/「大阪松竹座週報」6号(昭和18年)/『風と共に去りぬ』プログラム(昭和27年)/『シャイアン』大阪松竹座正面宣伝風景(昭和39年)/「松竹座新築開場記念柿茸落公演 三月大歌舞伎」ポスター(平成9年)

閲覧資料:「喝采 エピローグシアター松竹座 メモリアルプログラム 記念限定版」/図書「新築開場記念誌 大阪松竹座」/「大阪松竹座新築開場記念パンフレット」/「松竹座新築開場記念柿茸落公演 三月大歌舞伎」プログラム/雑誌「演劇界」平成9年4月号「特集 大阪松竹座柿茸落大歌舞伎」

閲覧室ミニ展示「大阪松竹座開場100周年」

展示期間:2023年4/28(金)～6/28(水)/時間:平日10時～17時/休館日:土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694(平日:10時より17時) <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>



閲覧室展示風景

■所蔵資料紹介 —[5]『達陀』資料—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、今月歌舞伎座の「歌舞伎座新開場十周年 團菊祭五月大歌舞伎」夜の部で、本公演では13年振りに上演される『達陀』の台本とプログラム、そして二世尾上松緑が著した図書「踊りの心」です。

『達陀』は、東大寺二月堂の「お水取り」を萩原雪夫が創作舞踊化した作品で、二世尾上松緑により昭和42[1967]年2月歌舞伎座で初演されました。今月の上演では孫にあたる当代松緑が、本公演では平成22[2010]年12月日生劇場以来二度目となる僧集慶をつとめています。「踊りの心」は、二世松緑がその生い立ちや踊り、芝居などについて綴った著書で、『達陀』にも触れています。

当館閲覧室で閲覧可能ですので、ご希望の方は閲覧席をご予約ください(※前日までの予約制)。当館HPの「資料検索」で検索できます。

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>



右:二世尾上松緑著書「踊りの心」
上左より:昭和42年2月歌舞伎座上演台本、プログラム
下左より:平成22年12月日生劇場上演台本、プログラム

新たに資料をご寄贈くださった方々

(敬称略・順不同/2023年3月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、公益社団法人日本演劇協会、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、株式会社日本舞踊社、国立劇場、劇団俳優座、キネマ旬報社、日本映画テレビプロデューサー協会、有限会社合同通信社、銀座 博品館劇場、シアタークリエ、博多座、文学座、劇団民藝、川崎哲男、アーティストジャパン、市川市東山魁夷記念館、若林さだ吉、肥土千恵子、一般社団法人日本民間放送連盟、オペラシアターこんにやく座、株式会社カモミール社テアトロ編集部、劇団銅鑼、樽松大剛、公益社団法人日本照明家協会、高松潤、(株)近代映画社、東宝株式会社映像事業部、高砂会、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、帝国劇場、銀座百店会、おとなのデジタルTVナビ編集部、土屋武久、邦楽の友社、立教大学映像身体学科学学生研究会、シナリオ・センター、北翔大学北方圏学術情報センター、東京都江戸東京博物館、義太夫節正本研究会言語研究班、早稲田大学演劇博物館、協同組合 日本映画撮影監督協会、愛知芸術文化センター、世田谷パブリックシアター、丸善出版株式会社、明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻、林与一、公益財団法人日本近代文学館、名古屋芸能文化会、丹野達弥、日本劇作家協会、OMS戯曲賞事務局、常磐津節保存会 会長 常磐津文字太夫、広瀬達郎、一般社団法人日本演出者協会、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、公益社団法人 国際演劇協会

どうもありがとうございました

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系4月演劇公演資料		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新・陰陽師 滝夜叉姫』		○		
	『与話情浄名横櫛 木更津海岸見染・赤間明陸・源氏店』	○	○	○	○
	『連獅子』	○	○		
新橋演舞場	『滝沢歌舞伎ZERO FINAL』	○		○	○
明治座	『義経千本桜 鳥居前』	○			
	『大杯觴酒戦強者』	○		○	
	『お祭り』				
	『通し狂言 絵本合法衛 立場の太平次』	○			
幕張メッセ	『御伽草紙戀姿絵』	○			
	『御伽草紙戀姿絵』 リミテッド・バージョン	○			
南座	『若き日の親鸞』			○	
松竹座	青春POP ROCK『ルーザーヴィル』			○	○
	『垣根の魔女』			○	○
御園座	『於染久松色読版 お染の七役』	○		○	
	『怪談乳房覆』	○			

オプログラム/銀プロ『次こそは男』雑遊プログラム/『視点「SHARE'S」』座・高円寺1プログラム/MONO『なるべく派手な服を着る』吉祥寺シアタープログラム/演劇ユニット鶴的『デラシネ』新宿シアタートップスプログラム/Mrs.fictions『15 Minutes Made in本多劇場』本多劇場プログラム/劇団俳優座『対話』俳優座スタジオプログラム、台本/『オー！マイゴッド！2023』博品館劇場プログラム/MASHIKAKU CONTE LIVE『ハイスタンダード』博品館劇場プログラム/『舞台「午前0時のラジオ局」』博品館劇場プログラム/ブロードウェイ・パウンズ プレゼンツ『オルガンズ おんな赤ひげ奮闘記』博品館劇場プログラム/『舞台 ラストアンコール 死者の夜明け』博品館劇場プログラム/イツフォーリーズ『バウムクーヘンとヒロシマ』俳優座劇場プログラム、台本/『巖流島』博多座プログラム/『新作歌舞伎 ファイナルファンタジーX』IHIステージアラウンド東京プログラム/『中村勘九郎中村七之助春暁特別公演2023』地方巡業プログラム/『第21回琉球芸能公演』国立劇場小劇場プログラム/『第172回舞踊公演』国立劇場小劇場プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『聖地には蜘蛛が巣を張る』『ゲネプロ★7』『東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 運命』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Confetti』2023年May/『DRAMAかながわ』88号/『the座』117号/『ほうおう』2023年6月号/『ジョイン』No.105/『テアトロ』2023年5月号/『演劇研究』46号/『近松研究所紀要』31号/『座・高円寺』No.28/『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点news letter』13号/『日本芸術文化振興会ニュース』2023年5月号/『日本劇作家協会会報 書き』69号/『日本照明家協会誌』2023年4月号

◆映画雑誌 (順不同) 『NFAJニューズレター』2023年4月-6月号/『SCREEN』2023年6月号/『キネマ旬報』2023年5月上・下旬合併号/『ドラマ』2023年5月号/『日本アカデミー賞協会会報』93号

◆他社演劇公演資料 (2023年2月-4月) (順不同) 『ハムレット』世田谷パブリックシアタープログラム/KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『蜘蛛巣城』神奈川芸術劇場ホールプログラム、台本/オールナイトニッポン55周年記念公演『たぶんこれ銀河鉄道の夜』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム/赤信号劇団『誤餐』ザ・スズナリプログラム/パラドックス定数『四兄弟』シアター風姿花伝プログラム/KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『掃除機』神奈川芸術劇場中ステージ

新規登録資料案内

(順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『EARLY AUTUMN: Masterworks of Japanese Cinema from the National Film Center, Tokyo』『戦後時代劇史 甦る名優たち 東映編』『8人の女 平凡プレミアムselection 今も輝き続ける女優たち』『旅する黒澤明 Kurosawa Travels around the World 榎田寿文ポスター・コレクションより 国立映画アーカイブ開館記念』『公開70周年記念 映画『羅生門』展』『チャレンジの軌跡 2009-2019 テレビ朝日360°』『連続テレビ小説 おちよん NHKドラマ・ガイド』『連続テレビ小説 なつぞら Part2 NHKドラマ・ガイド』『えどばたいじんぐ 江戸の広告作法』『評伝渡邊省亭 晴柳の影に』『演劇と音楽 Theater and Music』『三谷幸喜のありふれた生活16 予測不能』『ケイティ・ミッチェルの

演出術 舞台俳優と仕事するための14段階式クラフト』『時の束を抜く 古典籍からうまれるアートと翻訳 ないじえる芸術共同ラボ展』『なほになほなほ 私の履歴書』『笑育「笑い」で育む21世紀型能力』『別役実のつくりかた 幻の処女戯曲からそよよ族へ』『梅原猛先生追悼集 天翔ける心』『維新の恋と嵐』『スイートルーム組曲ノエル・カワード戯曲集』『日日歌舞伎三昧』『九代目団十郎と茅ヶ崎』『残夢 松本幸四郎』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年4月にご支援いただきました

法人・団体(50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》(※2023年3月10日改定)

- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP●<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook●<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>